

Ⅳ 専攻科目の教育目的および履修方法

1. 専攻科目とは

専攻科目は専門領域に関する科目で、学部が定めた「学位授与の方針」（ディプロマポリシー）と「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）に沿って、学生が専門的な知識や経験を得、本学部卒業生にふさわしい資質を身につけることを目的に配置されています。現代福祉学科においては下記の科目群から構成されています。

- (1) 福祉基礎科目：社会福祉学の原理、基盤を学ぶ科目
- (2) 福祉発展科目：社会福祉学の専門的知識と技法を学ぶ科目
- (3) 福祉応用科目：社会福祉学の知見を活かした多様な支援実践を学ぶ科目
- (4) 福祉教育科目：特別支援学校教育等に関わる専門的知識と技法を学ぶ科目
- (5) 実習系科目：専門的実習及び実習指導
- (6) 矯正保護科目：矯正・保護課程科目
- (7) 学部共通講義

2. 専攻科目の履修方法

- (1) 専攻科目のうち、下記の必修科目28単位をすべて履修しなければなりません。

- ・基礎ゼミナールA（2単位）
- ・基礎ゼミナールB（2単位）
- ・情報処理実習ⅠA（1単位）
- ・情報処理実習ⅠB（1単位）
- ・社会福祉実践論（2単位）
- ・社会イノベーション実践論（2単位）
- ・ソーシャルワークの基盤と専門職（2単位）
- ・社会福祉原論（4単位）
- ・現代福祉学演習ⅠA（2単位）
- ・現代福祉学演習ⅠB（2単位）
- ・現代福祉学演習ⅡA（2単位）
- ・現代福祉学演習ⅡB（2単位）
- ・卒業研究（4単位）

- (2) 必修科目以外の専攻科目から、選択必修科目2単位以上を含む計50単位以上を履修しなければなりません。

※選択必修科目群（下記科目群から2単位以上を履修しなければならない）

- ・ソーシャルワーク実習Ⅰ（6単位）
- ・社会福祉調査実習（2単位）
- ・特別支援教育実習（3単位）
- ・情報処理実習ⅡA（1単位）
- ・情報処理実習ⅡB（1単位）
- ・社会共生実習ⅠA（2単位）
- ・社会共生実習ⅠB（2単位）
- ・社会共生実習ⅡA（2単位）
- ・社会共生実習ⅡB（2単位）
- ・社会共生実習ⅢA（2単位）
- ・社会共生実習ⅢB（2単位）

(3) 必修科目以外で履修する専攻科目50単位を超えた単位数は、フリーゾーンに計上されます (P.36参照)。

(4) 専攻科目の先修制 (P.21参照) について

①下表のB群に示す科目を履修登録するためには、A群の科目の単位修得が条件となります。

A 群	B 群
情報処理実習Ⅰ A	情報処理実習Ⅰ B
情報処理実習Ⅰ B	情報処理実習Ⅱ A
情報処理実習Ⅱ A	情報処理実習Ⅱ B
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	ソーシャルワーク演習Ⅱ
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ
ソーシャルワーク実習Ⅰ (登録済み含む)	ソーシャルワーク演習Ⅲ
ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワーク実習Ⅱ
	精神保健福祉援助実習
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査実習
知的障害者教育指導論 肢体不自由者教育指導論 病弱者教育指導論	特別支援教育実習

②ソーシャルワーク実習Ⅰの先修条件

「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を履修するためには、以下の科目 (専修科目欄○印の科目) を履修済み (一部登録済み含む) でなければなりません。

社会福祉士指定科目 (現代福祉学科開講科目の名称)	時間数 (時間)	単位数	セメ	先修科目
医学概論	30	2	2	
心理学と心理的支援	30	2	2	
社会学と社会システム	30	2	1	
社会福祉原論	60	4	3	○
社会福祉調査の基礎	30	2	4	
ソーシャルワークの基盤と専門職	30	2	1	○
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30	2	2	○
ソーシャルワークの理論と方法	60	4	3	○
ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	60	4	4	
地域福祉論	60	4	4	○
福祉サービスの組織と経営	30	2	5	
社会保障論	60	4	3	
高齢者福祉論Ⅰ	30	2	1	○
障害者福祉論Ⅰ	30	2	1	○
児童福祉論Ⅰ	30	2	1	○
貧困に対する支援	30	2	4	
保健医療と福祉	30	2	5	
権利擁護を支える法制度	30	2	3	
刑事司法と福祉	30	2	4	
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30	2	4	○
ソーシャルワーク演習Ⅱ	60	4	5	
ソーシャルワーク演習Ⅲ	60	4	7	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	30	2	5	○
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	30	2	6	
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	30	2	6	
ソーシャルワーク実習Ⅰ	180	6	6	
ソーシャルワーク実習Ⅱ	60	2	6	

※ 3年次編・転入生の先修条件については、別途定めます。

(5) ソーシャルワーク実習Ⅰの先修条件【編・転入生対象】

3年次第2学期（後期）（第6セメスター）にソーシャルワーク実習Ⅰを履修するためには、3年次第1学期（前期）（第5セメスター）までに下記①～④を修得済み（ないし編・転入時に単位認定済み）であることが条件となります。

①社会福祉原論（前期4単位）、②ソーシャルワーク演習Ⅱ（前期4単位）、③ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、④社会福祉士指定科目12単位以上（①～③を除く）

(6) 「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を履修する場合は、同時に「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」を履修しなければなりません。

(7) 事前登録について

本学ホームページの「ポータルログイン」から、「Web予備・事前登録」画面にアクセスの上、希望科目を選択します。科目によっては、用紙の提出やアンケートへの回答等が求められる場合があります。

事前登録の方法・期間については、履修説明会および社会学部掲示板・ポータルサイトで確認してください。

3. ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの登録

ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの履修を希望する学生は、実習説明会に参加の上、配付される実習アンケートを提出してください。

4. 現代福祉学科の実践教育

現代福祉学科では、実践教育を重視したカリキュラムを編成しています。

(1) 初年次の実践教育

1年次の必修科目に実践的な科目・プログラムを提供しています。

- ① 社会福祉実践論（必修科目）
- ② 社会イノベーション実践論（必修科目）
- ③ 基礎ゼミナールA・B（必修科目）における「福祉入門体験」

(2) 実習系科目のうち、いずれかを選択しなければなりません。

- ① ソーシャルワーク実習Ⅰ
- ② 社会福祉調査実習
- ③ 特別支援教育実習
- ④ 情報処理実習ⅡA・B
- ⑤ 社会共生実習ⅠA
- ⑥ 社会共生実習ⅠB
- ⑦ 社会共生実習ⅡA
- ⑧ 社会共生実習ⅡB
- ⑨ 社会共生実習ⅢA
- ⑩ 社会共生実習ⅢB

I 社会福祉関係諸資格

1. 社会福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、社会福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 社会福祉士の職務

社会福祉士は、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識および技術をもって、身体上、精神上的の障害や環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するとともに、医師や保健医療サービス提供者、その他関係者との連絡および調整その他援助を行うことを職務とします。

2) 社会福祉士資格の取得

社会福祉士になるためには、以下が必要となります。

- (1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める社会福祉に関する科目（以下「社会福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること **【国家試験受験資格】**
- (2)社会福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において社会福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表1】のとおり社会福祉士指定科目に対応しています。

なお、現代福祉学科では、ソーシャルワーク実習Ⅰ等の科目に先修制を設けているので、計画的な履修を進めてください（56ページ参照のこと）。

2. 精神保健福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、精神保健福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 精神保健福祉士の職務

精神保健福祉士は、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健および福祉に関する専門的知識および知識をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、または精神障害者の社会復帰の促進を図るための施設を利用する者の地域相談支援の利用に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを職務とします。

2) 精神保健福祉士資格の取得

精神保健福祉士になるためには、以下が必要となります。

- (1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める精神障害者の保健及び福祉に関する科目（以下「精神保健福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること **【国家試験受験資格】**
- (2)精神保健福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において精神保健福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表3】のとおり精神保健福祉士指定科目に対応します。

なお、現代福祉学科では、ソーシャルワーク実習Ⅰを履修済みでなければ、精神保健福祉援助実習が履修できません。計画的な履修を進めてください（56ページ参照のこと）。

【表１】 社会福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	単位数	履修条件
医学概論	医学概論	2	2	必修
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	2	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	1	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論	3	4	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	4	2	
ソーシャルワークの基盤と専門性	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	
ソーシャルワークの基盤と専門性(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法	3	4	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	4	4	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論	4	4	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	5	2	
社会保障	社会保障論	3	4	
高齢者福祉	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	
障害者福祉	障害者福祉論Ⅰ	1	2	
児童・家庭福祉	児童福祉論Ⅰ	1	2	
貧困に対する支援	貧困に対する支援	4	2	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	5	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	3	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	4	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習Ⅱ	5	4	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	7	4	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	5	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	6	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	6	2	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ	6	6	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	6	2	

【表2】 社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法
本表は、学則別表15に基づき、社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅱ	60時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅲ	60時間	演習
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	30時間	演習
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	30時間	演習
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	30時間	演習
ソーシャルワーク実習Ⅰ	180時間	実習
ソーシャルワーク実習Ⅱ	60時間	実習

【表3】 精神保健福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	単位数	履修条件
医学概論	医学概論	2	2	必修
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	2	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	1	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉原論	3	4	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論	4	4	
社会保障	社会保障論	3	4	
障害者福祉	障害者福祉論Ⅰ	1	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	3	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	4	2	
社会調査調査の基礎	社会福祉調査の基礎	4	2	
精神医学と精神医療	精神医学と精神医療	3	4	
現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ	3	2	
	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	4	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	1	2	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理	4	4	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法	3	4	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	精神保健福祉援助技術論	5	4	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	5	2	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	2	
ソーシャルワーク演習(専門)	精神保健福祉援助演習Ⅰ	7	2	
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	8	4	
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	7	4	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	8	2	
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習	8	6	

方針	教育理念と
履修心得	履修の心得
履修心得	単位制度と
履修心得	開設方法
履修心得	履修登録
履修心得	成績評価
教育課程	教育課程の
教育課程	科目
教育課程	専攻科目
教育課程	その他
諸課程	
学修生活	
Q & A	
付録	

【表4】精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法

本表は、学則別表16に基づき、精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30	演習
精神保健福祉援助演習Ⅰ	30	演習
精神保健福祉援助演習Ⅱ	60	演習
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	60	演習
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	30	演習
精神保健福祉援助実習	210	実習